



KOBE BUSSAN CO., LTD.



2025 年 8 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 神 戸 物 産
(コード番号：3038 東証プライム)
代 表 者 名 代表取締役社長 沼田 博和
問 合 せ 先 経営企画部 部長 坂本 匡浩
T E L 0 7 9 - 4 5 8 - 0 3 3 9

「食の安全・安心への取り組み」

農産品の全輸入コンテナを対象とした残留農薬自主検査の実施に関するお知らせ

全国で「業務スーパー」をフランチャイズ展開する株式会社神戸物産（本社：兵庫県加古川市／代表取締役社長：沼田博和）はこのほど、海外から荷揚げされる農産品の全輸入コンテナを対象に、残留農薬の自主検査を始めたこととお知らせいたします。

国内に流通する輸入食品の残留農薬については、従来、国や自治体が行なっている検査を実施しております。また、当社においてはこれまでも、輸入前段階の現地における生産管理や残留農薬検査を行ってまいりました。

この度は、輸入農産品のさらなる安全性強化を目的に、今ある検査に加えて国内においても残留農薬の自主検査を始めました。国が定める「令和7年度輸入食品等モニタリング計画」で検査対象とされている残留農薬の項目において、新たに300以上の項目を対象に追加で自主検査を行います。

対象商品は、調味加工されていない冷凍野菜・果物、乾燥野菜・茶葉など約680アイテムです。検査は外部機関に委託し、残留農薬の検査手法として高精度で有効とされているガスクロマトグラフ質量分析や液体クロマトグラフ質量分析などを用いております。

食の安全・安心への関心が高まる中、より厳格な検査・販売体制をとりながら「良い物をより安く」提供していくことが、食に関わる事業を本幹とする当社の責務であり、大切な使命だと考えております。お客様が安心して食生活を送ることができるよう、残留農薬自主検査に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■残留農薬自主検査の概要

内 容 : 海外から荷揚げされる農産品の全輸入コンテナを対象とした残留農薬自主検査
検 査 項 目 数 : 314 項目
対 象 商 品 : 冷凍野菜・果物、乾燥野菜・茶葉など約680アイテム（画像は対象商品の一例）



検 査 実 施 期 間 : 2025 年 7 月 末 ～

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社神戸物産 経営企画部 IR・広報課（担当 天川・井上・市位・中川）
電話：079-458-0339 E-Mail：ir@kobebussan.co.jp